

令和6年度 ミニ・キエーロモニター事業の実施結果

1 事業概要

土の中の微生物の力で生ごみを分解・消失する生ごみ分解処理容器「ミニ・キエーロ」を使用し、その有効性・課題を検証するとともに、家庭から排出される生ごみ減量の取り組みを普及推進するものです。市内の114世帯で実際にミニ・キエーロを使用していただき、使用実績についてアンケート調査を実施しました。

調査期間：令和6年8月1日～31日 回答数：97



モニターの皆様！
ご協力いただき
ありがとうございました！

2 実施結果

(1) 処理状況

ミニ・キエーロでの生ごみ処理について、「うまくいっている」が82件、「うまくいっていない」が15件であり、約8割がうまくいっているとの回答でした。

うまくいっていない理由については、「手間がかかる」が最も多く9件、「分解しない」が4件、「虫がわく」が1件、でした。

処理状況

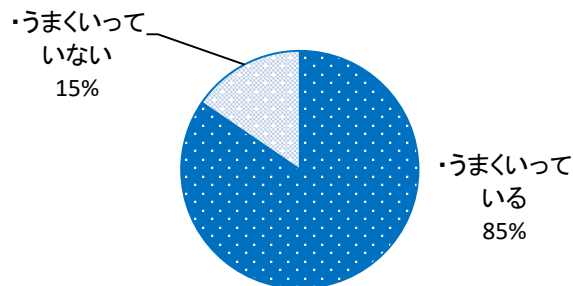
・うまくいっている	82
・うまくいっていない	15

うまくいっていない理由

・分解しない	4
・手間がかかる	9
・臭いが出る	0
・虫がわく	1
・その他	1

※複数回答あり

処理状況



(2) 投入量・頻度

全モニター世帯の生ごみ投入量は、8月の1か月で合計約152kgであり、1回あたりの平均投入量は約200gでした。

投入頻度は「2～3日に1回」が最も多く43件、次いで「4～5日に1回」が18件であり、平均投入頻度は4日に1回（月に換算すると8回程度）でした。

上記から、ミニ・キエーロを活用することで、1世帯あたりひと月約1.6kgの生ごみ削減が見込まれます。

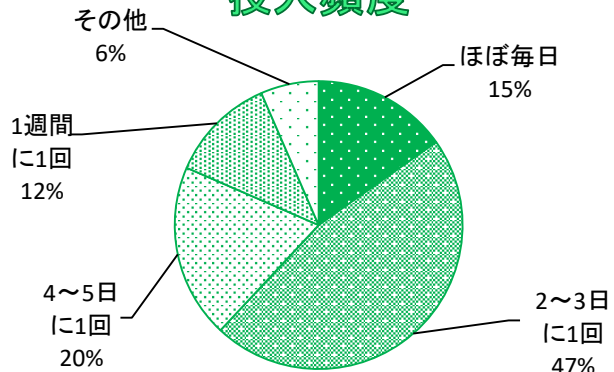
投入量実績(8月)

投入量合計(g)	151,554
平均投入量(g/回)	200

投入頻度

ほぼ毎日	14
2～3日に1回	43
4～5日に1回	18
1週間に1回	11
その他	6

投入頻度



(3) 投入される主な生ごみ

野菜くず(皮、芯、へた)、果物の皮、お茶(麦茶)がら、コーヒーかす、卵の殻、ご飯、麺類、肉の脂身、調理油、煮物やラーメンの汁、魚のあら(頭、骨、皮、内臓) など

※下線を引いたものは分解されにくい又は分解されない

(4) 今後の意向

ミニ・キエーロでの生ごみ処理について、「続ける意向である」が88件、「続けない」が8件であり、9割以上が今後も利用を続けるとの回答でした。

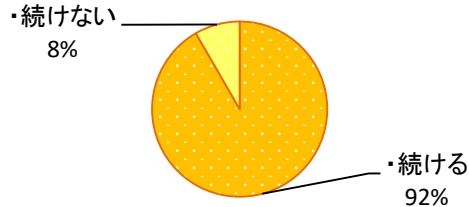
(1)で「うまくいっていない」と回答した世帯でも、「続ける意向である」との回答を多くいただきました。

今後の意向

・続ける	88
・続けない	8

※未回答1

今後の意向



【肯定的な意見(うまくいった点や工夫した点)】

- ・ごみの日まで生ごみを保管しなくてよいことも便利
 - ・微生物がこんな速いスピードで食べると思っていたのでびっくりした
 - ・排水溝にたまる細かいゴミを入れられ、貯めたり捨てたりすることが減り、臭いしないので良かった
 - ・小さく切ったり、加熱してやわらかくしたりすることが大事だと思った
 - ・地球環境について親子で考える良い機会になった
 - ・寒い季節になると分解が遅いようなので、工夫しながら無理せず続けたい
 - ・分解に時間がかかるものもあったが、虫がわいたり、臭いがでることなく使用できたのでよかった
-等

【否定的な意見(問題点)】

- ・分解しやすいものと分解しにくいものの分別が意外と面倒だった
- ・キッチンからベランダまで生ごみを持っていくことが面倒だった
- ・玉ネギの皮や卵の殻は分解されずにずっと残っている
- ・生ごみの量が多く、分解する前に途中であきらめることになってしまったのが残念
- ・生ごみが消失はしなかったが、水分コントロールが重要なことが分かった

3 実施結果から考えられる、ミニ・キエーロをトラブルなく使用するためのポイント

ミニ・キエーロモニター参加者の皆さまにおかれましては、以下のポイントを押さえてミニ・キエーロの使用を継続していただき、引き続き、生ごみ削減にご協力をお願いします。

- (1) 陽あたりが良いなど、**できるだけ温かい場所**にミニ・キエーロを置く。
- (2) ミニ・キエーロで**分解されやすいものを中心に投入**する。
分解されにくいものを投入する際は、分解されやすいものよりも細かく、火を通したりする。
- (3) 分解できる量は、各家庭の設置状況や天候等に大きく左右されるため、**投入量の調整**を行う。
足りない場合は各家庭に合ったミニ・キエーロを作ってさらに生ごみの削減。
- (4) 土に穴を掘って生ごみを入れ、**土とよく混ぜて**、掘った土をかぶせる。
生ごみと土ができるだけ多く接することが、早期分解のコツです。
- (5) 分解が進まなければ、**水分、油分を調整し、さらに土とよく混ぜる。**
- (6) **深いところに埋め、上に乾いた土をかぶせる**ことで、臭いや虫を防げます。

近年の夏は特に猛暑が続き、土が乾きやすく水分不足になりやすいのでこまめに水をあげてください。

4 モニターの皆様の調査や自由研究について

モニター参加者の方より、夏休みの自由研究や様々な調査資料、分解されていく様子の写真などたくさん送っていただきました。

ミニ・キエーロについて、たくさんの興味や関心をお寄せいただき本当にありがとうございます。

送っていただいた写真や研究資料の一部を
ホームページに掲載しているよ！
みんなたくさん送ってくれてありがとう！

